

=====

◆◇「犯罪からの子どもの安全」メールマガジン vol.32 ◇◆  
2011年4月28日号

=====

このメールマガジンでは、(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(以下、RISTEX)「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域が領域の活動報告をはじめ、各種イベント案内、国の取組み、問題に取り組む人々の紹介など、犯罪からの子どもの安全に関する様々な情報を毎月一回程度配信しております。

次回から配信を希望されない方、登録情報を変更したい方は、末尾をご参照下さい。

メルマガについてご意見やご感想、こんな情報が知りたい、こんな取り組みを行っているなど、皆様からの情報をお待ちしています！

◆◆ INDEX ◆◆

1. 研究開発領域・プロジェクトの活動紹介
2. 犯罪からの子どもの安全レポート
  - ・ エポック10 おとなの総合学習・子どもを守るためにわたしができること「ケータイ・インターネットと子どもたち」参加レポート
3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報
  - ・ 国の取組み情報
  - ・ イベント情報
  - ・ 見どころピックアップ！
4. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング  
今月一番注目されたコンテンツとは・・・
5. 今月のキーワード  
小児臓器移植

◆◆◆◆

東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、皆様の安全と一日も早い復興をお祈りいたします。

東京の桜のピークはあっという間に過ぎ去り、これからは東北地方で見ごろを迎えるようです。見事な花を咲かせる桜に春を実感するだけでなく、毎年同じ場所に同じように咲き誇る花に元気をもらえるような気がします。桜の花に見守られながら、新たな環境へと一歩踏み出した方も多いのではないのでしょうか。

新たな一歩といえば、児童ポルノをめぐる問題も前進がみられました。インターネット上の児童ポルノ画像へのアクセスを強制的に遮断する「ブロック」が今月21日に開始されました。ブロックを実施するのは、国内大手プロバイダー9社です。インターネットコンテンツセーフティ協会からの違法サイト情報を基に遮断するそうです。児童ポルノ縮小の礎となるか、今後の展開に要注目です。

児童ポルノ以外にも、子どもたちを取り巻くインターネット問題は、実に多様化しています。安全なインターネット利用のために大人、子どもそれぞれがどう対応したらいいのかについて、豊島区にて講演会が行われましたので、その模様を今号のレポートに掲載しています。

それでは、最後までご覧ください。

---

## 1. 研究開発領域・プロジェクトの活動紹介

---

今月の領域およびプロジェクトの動きをご紹介します。まずはプロジェクトから。

「犯罪からの子どもの安全を目指したe-learningシステムの開発」プロジェクトが、4月9日に実施者会議を開催しました。今年度から、全国のさまざまな小学校において、プロジェクト作成のe-learning教材の実証実験を開始します。どうしたら使いやすくなるのか、もっと良いものになるのか、ユーザーの立場にたって、日々検討を進めています。地域差、学校による環境・ニーズの異なりに、どのように対応していくのか、新たな課題が待ち受けています。

「子どもを犯罪から守るための多機関連携モデルの提唱」プロジェクトでは、4月22日に検討会を開催しました。近々、これまでの成果を発信する場として、シンポジウムを開催する予定で、これまでの取り組みによって得られた成果は何か、何を伝えたいか、活発な議論が交わされました。この機会は一方向的な発信に留まることなく、皆さまからのご意見をいただく場になることも目指しているようです。詳細は決まり次第改めてご案内させていただきます。

領域では、年度初めということで、領域全体および各プロジェクトなどについて、昨年度までの成果や今後取組むべきことを踏まえ、残りの期間を見据えた計画の精査を行っています。まさに、一年の計は年度当初にあります。

---

## 2. 犯罪からの子どもの安全レポート

---

●エポック10 おとなの総合学習・子どもを守るためにわたしができること  
「ケータイ・インターネットと子どもたち」参加レポート  
2011年4月14日 男女平等推進センター（エポック10）（東京都豊島区）

子どもが犯罪に巻き込まれず、安全で安心できるまちで子育てができるよう、自分たちにできることを考える、そんなテーマの下に開催された豊島区主催の講演会に参加してきました。

今回の内容は、インターネットの危険性や子どもたちの遊びの中に潜む落とし穴の見抜き方など具体的な対策についてで、講師は、当領域でも取組みを行うNP0法人青少年メディア研究会の下田真理子氏です。

冒頭でまず海外と日本のインターネット環境や認識の違いを説明しました。日本は海外に比べ、ケータイを通じてインターネットを行う子どもが多いようです。ケータイだと画面が小さいので、子どもがどんなサイトを見ているのかわかりにくく、保護者によるサポートが難しいという側面もあります。また、海外の保護者より日本の保護者のほうが危機意識が低い傾向があるとの指摘もなされました。

最近では、ケータイ以外にもゲーム機からインターネットにアクセスができるようになり、フィルタリングサービスはあるけれども利用者が少ない、悪質な書き込みなどについて発信者の特定が難しいなど、新たな課題も出てきている模様。

そこで大事になってくるのが、子どものインターネット利用を見守り、指導できる能力である「ペアレンタルコントロール」です。フィルタリングやインターネット接続について、自分の子どもの年齢などに応じて設定することが求められますが、そのためには、現状や危険性を十分認識しておくことが必要です。

インターネットの危険性とは、具体的にはどんなものがあるのでしょうか？ サイト自体に潜んでいる危険性はもちろんのこと、寂しいからだれかとつながっていたいと思うときやおこずかい稼ぎに利用するなど、使うタイミングや使い方によっても危険につながる可能性があるそうです。

また、出会い系、非出会い系サイトを通じてトラブルに巻き込まれるといった問題点はよく指摘されていますが、それ以外にも子どものネット遊び場が変化し、外から見えにくくなっているといった問題も出てきているようです。

例えば、今まで学校裏サイトを利用していた子どもたちが、ゲームサイトなどの掲示板などに場所を移し、そこでサークルを作り、サークルのメンバー以外は内容が見られないようにしているというのです。子どもたちだけの忌憚ない意見交換の場となる面もありますが、トラブルが起こった際、問題の潜在化につながる恐れもあり、使い方次第で正にも負にも転ぶインターネットの危うさを垣間見た気がしました。

使い方という点では、インターネットには、年齢、人種、性別、立場の違いを超えて協力し合えるというプラスの面もあるので、もっとプラスの使い方を伝えるべきとの意見が述べられました。

最後に、子どもたちを守るためには、保護者が見守り指導能力を身につける、ケータイを持たせない選択肢もある、学校や地域が一緒に取り組むことの必要性など具体的対策について言及し、大人目線でサイトをしっかり理解し、子どもに注意できるようになることが必要と締めくくりました。

インターネットを利用していること自体が悪いのではなく、問題なのはやはり使い方や保護者の認識であることを今回の講演を通して改めて実感しました。

(領域担当 . S.F)

---

### 3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報

---

#### 【更新情報】

#### ●国の取組み

青少年の携帯電話にフィルタリングを普及させるための緊急対策について  
(内閣府)

<http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/koho/index.html>

平成22年における被疑者取調べ適正化のための監督に関する規則の施行状況等と同規則の一部を改正する規則等の制定について（警察庁）  
[http://www.npa.go.jp/soumu/230324\\_kantoku.pdf](http://www.npa.go.jp/soumu/230324_kantoku.pdf)

立ち直りを助ける社会のチカラ 社会貢献活動（法務省）  
[http://www.moj.go.jp/hogo1/soumu/hogo02\\_kouken.html](http://www.moj.go.jp/hogo1/soumu/hogo02_kouken.html)

「世界自閉症啓発デー」に当たっての文部科学大臣メッセージ（文部科学省）  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/23/04/1303838.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/04/1303838.htm)

第2回児童養護施設等の社会的養護の課題に関する検討委員会議事録（厚生労働省）  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000015qkn.html>

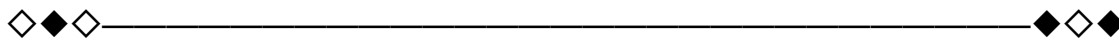
その他の取組みについてはこちら  
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/ministries/>

## ●イベント情報

平成23年5月27日他 法と心理学者による実務家研修  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jacp2/info/110401.pdf>

平成23年5月29日 第18回 せいりけん市民講座「発達障害の理解と対応」  
～ 自閉症、ADHDを疑われたら、診断されたら ～  
<http://www.nips.ac.jp/nipsquare/lecture/entry/2011/05/post-11.html>

その他のイベントについてはこちら  
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/event/>



## 【見どころピックアップ！】

今回の見どころはトピックスから、「子どもを犯罪から守るための多機関連携モデルの提唱」プロジェクトの協働先である北九州市の関係機関の方々へのインタビュー記事です。

北九州市では、警察、学校・教育委員会、児童相談所が同じ建物の同じフロアに位置し、関係諸機関と連携しながら、犯罪からの子どもの安全に取り組んでいます。

縦割りの壁をどう乗り越え、連携するに至ったのか、当事者の方々ならではの興味深いお話が満載です。ぜひご覧ください。

プロジェクト関与者インタビュー  
北九州市の3機関による取り組みを語る  
→ [http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/ad\\_14.pdf](http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/ad_14.pdf)

---

## 4. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング

---

### 【アクセスランキング】

- ☆ 1位 プロジェクト実施者インタビュー 第13回  
子どもの犯罪に関わる電子掲示板記事の収集・監視手法の検討  
[http://anzen-kodomo.jp/pdf/ad\\_13.pdf](http://anzen-kodomo.jp/pdf/ad_13.pdf)
- 2位 プロジェクト関与者インタビュー  
体験を共にすることで、家庭と学校のつながりが生まれる  
(福岡市立若宮小学校)  
[http://anzen-kodomo.jp/pdf/ad\\_09.pdf](http://anzen-kodomo.jp/pdf/ad_09.pdf)
- 3位 平成21年度研究開発実績報告書  
「子どもの見守りによる安全な地域社会の構築 ハート・ルネサンス」  
プロジェクト  
[http://anzen-kodomo.jp/reporters/reports/pdf/report2009\\_ikezaki.pdf](http://anzen-kodomo.jp/reporters/reports/pdf/report2009_ikezaki.pdf)

---

## 5. 今月のキーワード

---

### 「小児臓器移植」

今月中旬、脳死と判定された15歳未満の少年を臓器提供者とする脳死下臓器移植が、国内で初めて行われました。昨年7月の改正臓器移植法の施行以来、初めての実施です。

これに対し、日本移植者協議会は、国内で子どもの心臓移植の道が開かれ、新しい時代の幕開けとなったとの声明を発表しました。確かに、法改正以前は15歳未満の子どもが移植手術を受けるためには、海外に渡航するしか術がありませんでしたので、それを考えると新たな一歩には違いないかもしれません。

子どもの場合は、虐待によって脳死に至るケースも少なくなく、その場合の臓器提供は認められておらず、脳死の判定において、虐待の有無の判断が重要な要素となります。今回は、交通事故による脳死ということで、事故の目撃者もおり、警察や児童相談所などからの情報などを踏まえ、病院の虐待防止委員会により「虐待はなかった」との判断が下されました。

ただ、移植に至った経緯、虐待の有無の判定の経緯などの詳細は、公表されておらず、情報提供の在り方について、提供者やその家族への支援などと同様、今後の課題となっているようです。

日本移植者協議会による声明

<http://www.jtr.ne.jp/news/110413seimei.html>

\*\*\*\*\*

### 「犯罪からの子どもの安全メールマガジン」

▼メールマガジンに関する各種変更、配信登録・解除はこちら

<http://www.jst.go.jp/melmaga.html>

▼ご意見・ご感想、お問い合わせはこちら

[c-info@anzen-kodomo.jp](mailto:c-info@anzen-kodomo.jp)

■発行日 2011年4月28日

■発行元

(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター  
「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域  
領域WEBサイト <http://www.anzen-kodomo.jp/>  
社会技術研究開発センターWEBサイト <http://www.ristex.jp/>

\*\*\*\*\*